



新風会
ほんだ じゅんや
本田 順也 議員

漁業振興

Q 全国的な漁獲量減少の原因の一つとして温暖化が考えられるが、海の環境はどのように変わったのか。

A 有明海の海水温等の数値は、平成20～30年度にかけて、11、12、1月のそれぞれ中旬の平年水温の平均値は約10～18度、海中の栄養分となる無機態窒素は約100～200マイクログラムである。市内のノリの生産量が低下した令和3年度の同時期の水温は約11～19度、栄養分は約120～490マイクログラムで、特に水温は1度程度の上昇が確認されている。

Q 大三東漁港は干潮時に船の出入りができず、緊急を要する場合、救命できない可能性がある。しゅんせつ事業の進捗状況はどうか。

A 有明漁協からの要望を受け、国の補助事業の要件となる機能保全計画書の修正や堆積土砂量の把握をするための深浅測量及びしゅんせつ工事の実施設計に係る予算措置を行い、現在、業務委託を発注している。しゅんせつ工事は、令和5年と6年の2年間で予定している。

Q 大三東、湯江漁港棧橋の整備はいつ頃を見込んでいるのか。

A 劣化が著しい状況を確認し、緊急的な応急対策として、漁協にコンパネや木材の原材料を支給して対応している。令和4年度には、湯江漁港で漁業者による修繕作業が完了予定であり、大三東漁港でも令和5年度に同様の原材料支給を行いたい。ただ、今後を考え、本格的なFRP製の浮棧橋への改良を検討している段階であり、国や県、財政部局を含めた市内部での調整を行っている。

Q 大三東漁港東側の埋立てについて、有明漁協の通常総会で無償譲渡を放棄する議案が可決承認されたが、進捗状況はどうか。

A 現在、法的根拠の確認、和解契約書案の作成を鋭意進めており、今後は返還方法など協議を進め、本年度中には解決を図りたい。

Q 水揚げされた水産物を翌日の東京豊洲市場の競りに間に合うように配送できないか。

A 確認したところ、翌日の競りに間に合うように、市内の配送業者が飛行機を活用して翌日の都市圏市場へ配送できるとともに、長崎魚市場内の運送会社がトラックで翌日に都市圏市場へ配送できると聞いている。

【その他の質問項目】

◇祭りなどのイベント

◇少子高齢化に向けた行政の今後の取組



平成会
はまさき きよし
濱崎 清志 議員

市民が主役・地域未来づくりプロジェクト

Q 各地区の参加者の反応は。

A 地域の課題や市民の未来像を存分に語ってもらうため、高校生の参加など新たな内容で開催し、多くの参加があった。参加者からは、「地域協議会の発足に向け今から準備したい」、また「話の進め方が一方的ではないか」などの意見があった。

Q 各地区の参加人数は。

A 有明地区38名、三会地区15名、杉谷地区27名、森岳地区27名、壺丘地区25名、白山地区33名、安中地区46名、合計211名。

Q 全体的に人口減少がうかがえるとして平成26年度に研究機関が試算された資料を活用されたようだが、データが古い。現状を市民に知らせるべき。正しい情報を出す努力をすべきではないか。

A 現在に近いものを出すべきだと思う。町内会・自治会別にもデータがあるという意味合いもあった。

島原市の新しい学校の在り方

Q 令和5年度の入学予定者数は。

A 一小68名、二小52名、三小41名、四小23名、五小66名、三会小25名、長貫分校9名、大三東小42名、高野小9名、湯江小31名、合計366名。一中144名、二中66名、三中44名、三会中50名、有中86名、合計390名。

Q 学校規模の適正化の必要性は。

A 文科省通知では、小学校はクラス替えが可能となることなどから12学級以上、中学校は免許外指導をなくしたり、同学年に複数教員を配置できることから、9学級以上確保することが望ましいとされている。

Q 本市での免許外指導の状況は。

A 中学校で配置している。加えて、2つの学校を兼務する教員も配置。

Q 学校規模の適正化を進めていく上では、市民に現状を十分説明すべき。現状のままでは住民サービスの低下を招くのでは。削減される事業が出てくるのか。

A 絞り込みまでは至っていないが、影響があるのはそのとおりだと思う。

【その他の質問項目】

◇長崎県のケアラー条例の設置